

平成 26 年度事業報告

I. 事業の状況

1. 奨学事業

(1) 奨学生の選考、決定

① 平成 26 年度新規採択奨学生及び継続奨学生

指定校公募により応募のあった 13 の大学・高校からの奨学生の候補者 29 名について、平成 26 年 4 月 15 日開催の選考委員会において書類審査を行い、24 名を選考した。また、学業状況報告書、成績証明書等の審査により、99 名の継続を認めた。

② 平成 26 年度後期採択奨学生

9 月末で奨学金支給期間が満了した者等の補充として 21 の指定校から応募のあった奨学生候補者及び後期採択予定の渡日時・学部奨学生の候補者について、平成 26 年 10 月 10 日開催の選考委員会において書類審査を行い、35 名を選考した。

③ 理事長は、選考委員会により選考され、又は継続が認められた上記①～②の候補者を平成 26 年度の新規採用の奨学生又は継続奨学生に決定し、本人及び各推薦大学に通知した。

(2) 平成 26 年度奨学生

平成 26 年度の奨学生は、4 月採択者 24 名、継続者 99 名、10 月採択者 35 名で延べ 158 名となった。なお、年度内に終了者が 3 名あったため、26 年度末現在の奨学生数は 155 名であった。

(内訳)

種別	26 年 4 月 採択者	継続者	26 年 10 月 採択者	年度内 終了者	年度末奨学 生数 合計
一般奨学生	10	86	27	2	121
酒井秀樹メモリアル・ スカラシップ奨学生	0	3	0	0	3
渡日時・学部奨学生	1	0	8	0	9
特別優秀奨学生	13	10	0	1	22
計	24	99	35	3	155

(注) 一般奨学生の継続者には、渡日時・学部奨学生からの振替者を含む。

(3) 奨学金の支給

ア、奨学金贈呈式

平成 26 年 6 月 7 日に新規採択の奨学生への奨学金贈呈式を行った。

また、平成 26 年 12 月 6 日に 10 月採択の奨学生への奨学金贈呈式を行った。

イ、奨学金の支給

下表の支給額及び支給期間に基づき、奨学生に対し、毎月銀行振込みにより支給した。

種別	支給額	支給期間
一般奨学金	15万円／月額	最長4年間
酒井秀樹メモリアル・スカラシップ（SMS）	20万円／月額	最長5年間
渡日時・学部奨学金	全コース 渡日一時金100万円までの実費 Aコース 15万円／月額 Bコース 15万円／月額 Cコース 受入高校の規程により、入学金、授業料、寄宿舎費、賄費等の実費を支給	一般奨学金への振替後を含み、 最長4年間 最長4.5年間 最長5.5年間
特別優秀奨学金	20万円／月額	最長5年間

(4) 学業に関する報告及び生活状況報告

平成27年2月6日、奨学生に学業状況報告及び生活状況報告の提出を求めた。

(5) 平成27年度奨学事業関係

平成27年3月4日付けで、平成27年度奨学生の候補者の推薦を13大学・高校の長あてに依頼した。（締切日：平成27年3月24日）

2. 研究助成事業

アジア諸国からの留学終了後我が国の大学・研究機関等の研究職に留まり研究継続している者に対する初年度研究助成事業として、理事長は、選考委員会における選考を経て、平成26年度は下記5件の研究主題に対し研究助成金を支給することを決定し、各応募者に通知した。

申請者（代表研究者）氏名	所属機関 職名	専攻分野	研究主題	略歴	決定額 （千円）
王 丹	京都大学 物質・細胞統合システム拠点 助教	神経科学	学習による脳内遺伝子発現変化の可視性	東北育才学校（中国） 東京工業大学 アラバマ大学 南カリフォルニア大学	10,000

張 森	東京工業大学 特任助教	無線通信、アンテナ工学	ミリ波帯超高速無線通信システムにおけるシンボル間干渉の解析と新しいアンテナ設計指針の検討	東北育才学校（中国） 東京工業大学（学部→博士）	8,000
曲 薇	東京大学 新領域創成科学研究科 特任講師	バイオインフォマティクス	ゲノム医療に向けたバイオインフォマティクスの基盤研究	東北育才学校（中国） 東京大学（学部→博士）	8,000
呉 世蓮	早稲田大学 非常勤講師	教育学	日本と韓国における多文化教育の現状と課題—学校教育、社会教育及び地域社会における取り組みの比較を通して—	東亜女子高等学校（韓国） 早稲田大学（学部→博士）	3,000
田 雨時	大阪大学大学院 情報科学研究科 特任助教	計算科学	抗ウイルス薬の探索及び薬物副作用予測法の開発	東北育才外国語学校 大阪大学（学部→博士）	7,000

総額 36,000千円

3. 交流活動事業等

(1) 創立20周年記念事業

平成26年12月6日に、奨学生OB、OGを招待して記念式典を実施するとともに、建築家安藤忠雄氏の講演「アジアの時代」及びオペラ歌手によるコンサートを実施した。

(2) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員、評議員選定委員の出席を得て次のとおり開催した。

第1回 平成26年6月7日（於：ザ・キャピトルホテル東急）

第2回 平成26年9月9日～11日

（2泊3日の北海道知床半島研修旅行）

第3回 平成26年12月6日（於：ザ・キャピトルホテル東急）

第4回 平成27年3月14日（於：ザ・キャピトルホテル東急）

(3) 「交流のひろば」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「交流のひろば」第20号（20周年記念号）を平成27年3月14日に刊行した。

Ⅱ. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26 年 6 月 7 日	1. 平成 25 年度事業報告及び収支決算について 2. 職務執行状況の報告について	全会一致で承認・可決
平成 26 年 9 月 1 日 (決議の省略)	1. 財団の目的及び事業の変更について 2. 平成 26 年度事業計画書及び収支予算書の一部変更について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
平成 27 年 2 月 13 日 (決議の省略)	1. 平成 26 年度臨時評議員会の開催及び招集について	全会一致で承認・可決
平成 27 年 3 月 14 日	1. 平成 27 年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 2. 株主権の議決権行使について 3. 平成 27 年度定時評議員会の開催日時、場所及び議題について 4. 職務執行状況の報告について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26 年 6 月 23 日	1. 平成 25 年度事業報告について 2. 平成 25 年度決算の承認について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
平成 26 年 9 月 24 日 (決議の省略)	1. 定款の一部変更について 2. 平成 26 年度事業計画書及び収支予算書の一部変更について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
平成 27 年 3 月 14 日	1. 平成 27 年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	全会一致で承認・可決

(3) 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 26 年 4 月 15 日	平成 26 年度新規採択の奨学生の選考	書類審査により計 24 名を選考
平成 26 年 10 月 10 日	平成 26 年度後期募集に伴う渡日時・学部奨学生その他の選考	書類審査により計 35 名を選考

なお、選考委員会の委任に基づき、有山正孝選考委員長、五味政信選考委員、小川進吾常務理事は、平成26年10月13日から16日まで、ベトナムのハノイ市を訪問し、渡日時・学部奨学生の候補者及びその保護者、指導教員との面談を行い、選考を行った。

2. 認可、認定等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日
平成26年9月18日	定款の一部を変更し、公益目的事業(2)「留学終了後我が国の大学等の研究職に留まり研究を継続している者に対する研究助成」を新たに追加する。	平成27年1月21日

3. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額
(公財)ヒロセ国際奨学財団の管理費に充てるため	ヒロセ電機株式会社 代表取締役会長 中村 達朗殿	千円 10,000	千円 10,000